

陳情第 13 号

米軍Xバンドレーダー基地問題等に関わる陳情書 18

下記の者から別紙要旨による陳情書を受理したから、議会の審議に付する。

記

陳情者 京都府京丹後市■■■■■■■■■■  
米軍基地建設を憂う宇川有志の会  
代 表 増 田 光 夫

令和2年11月26日 提出

京丹後市議会議長 金 田 琮 仁

令和2年第5回京丹後市議会12月定例会  
陳情文書表

- 1 件名 米軍Xバンドレーダー基地問題等に関わる陳情書 18
- 2 受理年月日 令和2年11月17日
- 3 受理番号 第13号
- 4 陳情者 京都府京丹後市■■■■■■■■■■  
米軍基地建設を憂う宇川有志の会  
代表 増田光夫
- 5 陳情の要旨等 別紙のとおり
- 6 付託委員会 総務常任委員会



2020年11月17日

京丹後市議会

議長 金田 琮仁 様

627-0233 京都府京丹後市 [REDACTED]  
米軍基地建設を憂う宇川有志の会  
TEL [REDACTED]

代表 増田 光夫 [REDACTED]

## 米軍 X バンドレーダー基地問題等に関わる陳情書 18

本市丹後町宇川地域の米軍基地が本格的な稼働を始めてから 5 年 10 ヶ月が経過しました。この基地の建設・稼働に対しては、あらゆる面での「住民の安全・安心の確保」が前提となっていることはご存知の通りです。

そのために各当局が様々な取り組みを続けてこられました。しかしながら、問題点が改善されない状況が続いています。殊に本年 6 月以降、発電機の連続稼働問題、関係者の酒気帯び運転事故問題、新型コロナウイルスクラスター発生問題と立て続けに重大な問題が発生しました。これらに対し、市長を先頭に積極的な対応がなされましたが、未だ十分とは言えません。

貴議会でもそれらの問題点をしっかり把握され、市民・住民のより一層の「安全・安心の確保」のためにご努力していただくことを祈念して、下記の諸点について《陳情書》を提出するものです。

## 記

## ① 発電機の連続稼働について

6 月 4 日から 6 月 17 日まで、米軍基地では受電機の故障によって発電機が連続稼働し激しい騒音に住民が悩まされる一方、市長の強い停止要請も実現しない状況が続きました。その後も似たような事が起こり、根本的な解決がなされていません。米軍に対し、受電機の欠陥を完全に是正するよう求めています。

## ② 事故情報の開示について

6 月 13 日に発生し 7 月 7 日に明らかにされた米軍属の酒気帯び運転事故は、重大事故であるにもかかわらず、当初米軍からの情報が市にもたらされないという由々しき事態が発生しました。市長はこの事態を重く見て、昨年 3 月の米軍・防衛省の情報開示ルールの一方的変更の再考と従来通りの情報提供を求めています。防衛省はそれに応えようとしていません。貴議会においても市長と共に明確な開示ルールの確立とそれまでの情報提供を求めて意思表示をしていただきたい。

③ 米軍の新型コロナウイルス問題について

感染者0であった本市に、米軍の内部から新型コロナウイルスの感染者が確認されクラスター発生に至った事態は、本市全体に衝撃を与えました。当初、市、府の要請にもかかわらず米軍からの必要な情報が出されず、市民・住民に大きな不安・不信が広がりました。その後、一定の改善がなされたと聞いてはいますが、米軍の陽性者関係で一体どれだけの検査が日本側でやられたのかは未だに不明です。それらの情報を明らかにさせると共に、二度と同じ事を起こすことがないように米軍・防衛省にその万全を期すよう申し入れていただきたい。

④ 「二期工事」に関わる諸問題について

- ・現在基地で使用されている国道からのゲートは設置から1年半経ち日々の基地活動や「二期工事」の為の唯一の出入り口となっておりますが、私たちの指摘にもかかわらず「工事計画図」には一度も出されたことがありません。その理由を明らかにさせていただきます。
- ・厚生施設の北側に大規模な下水浄化槽が作られました。この施設の最終排水口の場所と排水方法と水質について、直接現場で確認できるよう求めています。
- ・一期工事で作られた通信ゾーンと、現在の「二期工事」で国道沿いに作られた2基の巨大な給水タンクは約束されていた緑色にはなっていません。その理由を明らかにさせていただきます。

⑤ 日米共同訓練について

11月2日と11月3日、経ヶ岬米軍基地において自衛隊の部隊が武装した侵入者を銃撃戦の末撃退するという想定の日米共同訓練が行われ、隣接の寺院に激しい銃撃音が鳴り響くという事態となりました。銃撃は空砲とのことですが、住民が心の拠り所とする場所でのこのような事は看過できません。今後このような訓練をしないよう求めています。

⑥ 国との約束10項目について

近畿中部防衛局は市長の求めに応じ、10月16日の「安安連」(安全安心連絡協議会)24に本市と国との「約束10項目」についての検証・見解を公表しました。大前提である「住民の安全・安心の確保」の視点からこの見解が妥当なものであるのか、貴議会も市長とともにしっかりと検証していただきたい。

- ⑦ 4月の選挙で市長が交代し、米軍、防衛省に対して一定の毅然とした態度を取られるようになりました。その市長の要望に対して米軍、防衛省の対応は極めて不十分なものです。貴議会も市長の思いを共有し、米軍基地に関する諸問題の改善に向けての一層のご努力をお願いしたい。

以上